

花言葉は「幸福」「思い出」

幸せいっぱいの新生活や思い出の詰まった卒業に合わせるよう、ぽつりぽつりと咲き始めた福寿草。春の訪れは、すぐそこまで来ています。



岩崎会場



深浦会場

地域住民から様々な意見・提案を伺う地域懇談会が、岩崎ふれあい創造の館（2月18日）、役場町民文化ホール（2月19日）、町農村環境改善センター（2月24日）の3会場で行われました。

この懇談会は、町民の方々に町政の現状や主な取組を紹介しながら、地域が抱える課題等を伺い、これからの町の施策や指針づくりの参考とするために実施。3会場合わせて110名が参加しました。

吉田町長をはじめ、関係課長が勢揃いする機会とあり、参加した住民は、医療や産業振興、人口減少などについて意見を述べ、豊かで住みよい環境づくりと活力あるまちづくりの実現に向けて語り合いました。

また、2月25日は、平成27年度から10年間のまちづくりの指針となる「深浦町第二次総合計画（案）」の審議を重ねてきた総合計画審議会（小野文之会長）が、計画推進に向けた要望を盛り込んだ答申書を提出。吉田町長は「地域の声を汲み上げながら、計画を進めたい」と、今後のまちづくりに向けて抱負を語りました。

地域懇談会や総合計画審議会で寄せられた意見・要望は、これから策定する実施計画に反映することとしています。また、地域懇談会で寄せられた提言等は、次のとおりです。（抜粋）

【医療関係】

参加者 新しく整備する診療所へ小児科医、産婦人科医を招へいすることはできないか。

担当課 子育て支援も大事だが、高齢化率が高い深浦では、高血圧や糖尿病といった慢性疾患に対応した総合診療ができる医師の確保が先決。地方で診察する医師が少ないことから、まずは医師確保を優先して進めていきたい。

町長 現状では内科医の確保も大変な状況。自ら小児科や産婦人科をやりたいと手を挙げる医師は歓迎したい。

参加者 新診療所建設時の地域包括ケアの扱いはどうなるのか。

担当課 現在の関診療所で行っている包括システムは、新診療所にも引き継いでいく。介護、保健、福祉が一体となったサービスを提供していきたい。

参加者 医師確保は難しい問題だと思ふ。他の市町では、自前で医師を育てようと学生を支援しているが、取り組む予定はあるか。

担当課 弘前大学のAO入試（大学や関連施設での勤務を条件とする採用）や医学部就学の資金を支援する県の取組みとタイアップしていきたい。

町長 高校から支援し、卒業後に深浦に来てというのは、将来を縛ることになり、親切なようで実は酷なこと。経験を積み40歳で帰ってくるような支援制度を、財政が許すのであれば検討したい。

参加者 関診療所は継続診療をしていくのか。

担当課 医師が確保できれば、現在の診療所で週3日でも5日でも診療は可能。まずは医師の確保に努めつつ、公設民営で開業を希望する医師の募集を視野に入れて進めていきたい。

町長 新診療所から医師を派遣し、継続して診療する方向で検討していきたい。



総合計画答申書を提出





大戸瀬会場

【産業振興】

参加者 岩崎地区には養殖のノウハウを持った人もいますので、サーモンの中間育成施設は岩崎の方へぜひお願いしたい。

町長 サーモン養殖事業は、調査も含めて順調に進んでいる。井戸水だけでなく川の豊富な水も使えるということなので、岩崎地区は有力な候補地の1つ。養殖だけでなく加工事業でも雇用が生まれることから、大きな期待をしている。

参加者 サーモン養殖事業は、海中で飼育するのか。エサやヘドロなどの影響で海洋汚染が心配だが、その点と雇用の状況をお知らせ願いたい。

町長 漁場の汚染防止と給餌作業に危険が生じないようにするためにも、事業者は陸上にプールを作って海水を汲み上げて養殖し、浄化した水を放流する方式を予定している。

副町長 養殖事業に係る雇用は、加工も含めて350名ほど。加えて家族での移住も見込めるため、人口増につなげるものと期待している。

参加者 深浦は漁業が盛んだが、深浦地区は魚を売る場所がなくなってしまう。何とかして欲しい。

町長 地方創生に伴う交付金を活用し、魚屋や移動販売などの開業を目指す事業者を支援したいと考えている。

担当課 意欲のある事業者の開店経費などを対象に支援する買い物環境改善事業を計画している。

参加者 サーモン養殖事業が軌道に乗ったとき、雇用の取り合いになるのではと思う。今現在も雇用を増やしたいが、なかなか人が集まらない。何百人単位という雇用の場ができるのは非常に良いが、多くの雇用者を集めるための町の考えを聞かせてほしい。

町長 事業者の話によると、水産大出身者の就職先がなかなか無い状況。今回の先進的な養殖事業に取り組みたいという若者は、全国にたくさんいる。雇用の一部は、町外出身者になるのではと考えている。さらに、町外に就職していた町の若い人が帰ってくるという可能性もある。



参加者 魚の保存や出荷調整できる冷蔵庫、冷凍庫の整備ができないか。

町長 冷蔵庫や冷凍庫の整備は、国や県の補助制度を活用した協力はできると考えている。ただ、電気料等

めていきたい。

【その他】

参加者 各自治会に災害時用の非常食や水が配備されたが、無くなってしまった。賞味期限が過ぎたりしているため、再配備できないか。また、地域の商店がなくなってきたので、役場支所や駅などで簡易な物品の販売ができないか。

担当課 非常食や水は、無くなったら補充することとしているので、お知らせ願いたい。

町長 町による売店等の設置は、販売を営んでいる方との関係もあり、非常に微妙な問題。住民のニーズと商店の感覚のミスマッチを埋めるよう検討していきたい。

参加者 10年後の町の人口は、どれくらいになると考えているか。また、ホームページはいつ更新しているのか。

副町長 合併してから、町の人口は2千人減少している。同じような状況だとすると、10年後は7,000人前後だと考えるが、雇用創出により少しでも減少のスピードを遅くさせるようにしたい。

担当課 ホームページは、見てもらうために新しい情報の更新が必要なことは承知している。現在のシステムは、各職員の端末からいつでも誰でも更



の維持経費は運営主体（漁協等）の負担になるので、経営者の判断になると思う。

【観光関係】

参加者 観光客が1人でも多く来るよう、十二湖駅前の整備と秋の青池の落ち葉の除去ができないか。

担当課 十二湖駅前の電柱移転方法を検討していたが、工費が膨らむため、現状では電柱をそのままバスパスを整備する方向。青池の落ち葉は、現場のガイド等の意見を聞きながら対応していきたい。

町長 自然保護との絡みもあるが、人海戦術で取り除くようにしたい。

参加者 十二湖も素晴らしいが、行合も素晴らしいスポット。誘客のために、何か考えていることはあるのか。

担当課 深浦じゃらんや新たに開設する観光専門のポータルサイトで紹介していきたい。また、移動の足については、深浦駅にあるナビチャリな

新でできることから、さらに情報の更新を促していきたい。

参加者 岩崎地区で小中一貫教育ができないか。

教育長 深浦、岩崎中の統合問題は、約5年前からあり、岩崎地区でアンケートを取った結果は3者3様。当時と現在では生徒数はほとんど変わりなく、統合問題は今すぐ進める状況ではない。ただ、地域の核として小中学校が存在しており、小中一貫教育の可能性について検討していきたい。

参加者 木造高校深浦校舎はずっと存続していくのか。

町長 離島である島根県海士町では、高校を存続させるために地域全体でまちづくりをした。その結果、都会から多くの人が集まっている。いかに魅力あるまちづくりができるかにかかっていると思う。

参加者 昨年8月の北金ヶ沢地区での大雨による冠水被害が、今後発生しないよう対策を講じてほしい。

担当課 流木やゴミがたまらないよう県と協議を進めており、27年度で改良予定。

町長 行政で行う以上、手続き等に時間がかかる。今すぐとはいかないが、対応するのでご理解願いたい。

参加者 深浦の名産品や特産品がたくさんあるが、実際に手に取って買える場所を整備できないか。

担当課 27年度には、特産品を販売する店を円覚寺前のこみせ等に設置する方向。

参加者 観光課、観光協会、商工会、まちづくり団体が、一緒になって意見を出しあい、活動することが大事だと思うがどうか。

町長 まったくその通り。深浦の観光は一本化したほうがいい。お客様が目線に立ち、意識改革していくことがとても大事。

参加者 日本一の大イチョウ周辺の環境整備ができないか。

担当課 夜間ライトアップの効果もあり、お客さまも年々増えている。駐車場の混雑も実感しており、関係部署と連携して整備を検討していきたい。

町長 道路環境の整備も含めて、県の協力を得られるよう環境整備を進めていきたい。

町長 各自治会で除雪機を購入しているところもあるので、地域の人たちで協力して対応することも考えてほしい。

参加者 住宅リフォーム助成事業は、今後もやる予定はあるのか。

町長 リフォーム事業は、町の経済活性化に貢献しており、今後も続けていきたい。現在の町の上限は、事業費200万円で補助金30万円。例えば、今年100万円の工事をしたら、来年残り100万円の工事ができるという考えがあってもいいと思う。実施可能かどうか今後検討していきたい。

参加者 新たな風力発電の計画があるようだが、渡り鳥の調査等環境アセスはもう公表されているのか。

担当課 轟木から千畳敷までの広域農道の山側に、30〜40基の風車建設を計画している。建設場所もまだ固まらずに、現在は野生生物や水生生物の調査を実施している段階。環境アセスは2年くらいかかるので、公表はまだ先になると思う。

これらの他、避難計画や防災無線の難視聴、農作物栽培への助成、集落センター及び支所の整備、新しい道の駅の設置等への意見が寄せられました。



コーディネーターの永澤さん



帰属争いを説明する西崎さん



あわび漁を語る中川さん



グループで久六島を語り合う



サプライズ提供の久六島サザエにっこり

宝の島を知る

日本海屈指と言われる好漁場をめぐり、かつて青森、秋田が領土争いを繰り広げた久六島。陸地からはるか30km洋上に浮かぶ島の実態は、あまり知られていない。

宝の島と呼ばれる理由は。そして、深浦町に編入となった背景とは。久六島の魅力にせまる。

久六島帰属の主な経過

- ・天正年間（約420年前）に発見されて以来、深浦、舳作、沢辺、岩崎の関係漁民によって磯魚、アワビを対象とした漁業が行われる。
- ・明治時代になると、青森県、秋田県において所属争いが続く。明治26年6月には、久六島漁場をめぐり、青森、秋田の漁民が争乱を起こす。
- ・昭和26年1月、久六島所属問題で、青森、秋田両県の交渉が決裂。
- ・昭和26年10月、臨時県議会で久六島の深浦町編入を議決。
- ・昭和28年3月、閣議により久六島は青森県所属が適当と了解。同年7月、「久六島問題の解決に関する覚書」に、青森、秋田両県知事調印。
- ・昭和31年9月、総理府から久六島を深浦町に編入する旨を告示。同月、登記簿に搭載。

深浦を語ることのできるひとつづくりを目指した「生涯学習まちづくりフォーラム」が2月28日、町民文化ホールで行われました。

今回のテーマは「久六島」。山や川、湖などたくさんさんの自然環境に囲まれたふるさと深浦にあつて、なかなか行くことができない沖合の久六島について知ろうと、約120名が参加しました。

宝をめぐる衝突

二部構成のフォーラムでは、始めに前町農林水産課長の永澤氏をコーディネーターに、新深浦町漁業協同組合代表理事組合長の西崎義三氏、(株)久六

森県に所属することになったきっかけの一つとして「島周辺での操業を記した石碑が舳作地区で見つかったこと」を挙げ、その後、当時の両県知事が久六島紛争解決の覚書に調印し、紛争は収束、現在は両県の協定で操業する船や魚種を制限するなど、限りある資源を保護する取り組みを行っています。

宝を育む力

久六島周辺では、3つの岩礁以外にも干潮時に岩が出現するほど浅瀬が広がっており、その範囲は周囲約1000m。一方で、浅瀬以外は深い海溝となっており、最深は約3千mとも言われています。

この複雑な地形により、海中の深層水が浅瀬にぶつかって上昇し、プランクトンなどの豊富な栄養分が表層に上昇する湧昇流が発生、アワビやサザエはもちろん、ワカメやツルアラメも大きく成長する要因となっています。

久六島でアワビ潜水漁を営む中川氏は「漁期は4月から7月まで。潮の流れが速くて操業できないこともあり、月に10日できればいい方」と語り、操業に関するエピソードを語りました。

豊富な栄養の恩恵を受けた魚介類が生息する久六島ですが、中川氏によると「放流や禁漁期間を設けているものの、年々水揚げが減ってきている」と、

屋代表取締役の中川善文氏による「深浦と久六島の関わり」と題した座談会を開催。久六島が上の島、下の島、ジブの島の3つの岩礁で構成されていること、さらに島の位置や名前の由来などを説明しました。

久六島を語る上で外せないのが、何と言っても豊富な魚介類。西崎氏は「明治時代は秋田県の方が盛んに漁業を営んでおり、久六島周辺のあわび採取やほつけ漁のみならず、大戸瀬周辺まで操業しようとした。このため、互いの県の漁業監視船が衝突するなど、紛争が絶えなかった」と、当時の様子を紹介しました。

また、西崎氏によると、久六島が青

現状に危機感を持っています。西崎氏は「アワビやサザエだけでなく、久六島はマグロやメバルの好漁場。限りある資源を守るため、各漁協と協力していきたい」と語り、中川氏は「トドやアザラシによる魚の食害が深刻」と、海獣対策を訴えました。

宝を活かす

続いて、参加者によるワークショップを開催。座談会や久六島周辺を撮影したビデオ上映を参考に、グループごとに久六島について話し合いました。

参加者からは、サザエの年齢の見分け方や久六島灯台のメンテナンス、ツルアラメを利用した商品開発など様々な意見が出される中、最も多かったのは「久六島を観光に利用できないか」という意見。食や歴史などへの理解が深まるとともに、島自体が持つ資源に興味を持ったようです。

観光ツアーの実施や上陸には、遊漁船や安全の確保など、ハードルは決して低くありません。さらに、なかなか行けないからこそ価値があるという意見もあります。実施できるかどうかは今後の検討課題といえそうですが、今まで知らなかった久六島を学び、魅力ある宝の価値を認識した参加者の顔には充実感が漂っていました。

2/14 町内小学校卓球大会新人戦

町民体育館で町内小学校卓球大会新人戦が開催され、各小学校から34名の選手が参加して熱戦が繰り広げられました。各種目の結果は次のとおり。

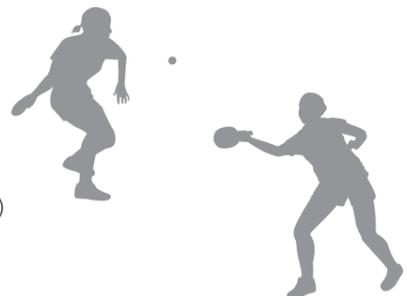
- 4・5年男子
 準決勝 岩根将太(深浦卓球ク) 3-0 相馬崇史(深浦卓球ク)
 " 堀内優作(いわさき小) 3-0 兵藤慶太(深浦卓球ク)
 決勝 岩根将太(深浦卓球ク) 3-1 堀内優作(いわさき小)

- 4・5年女子
 準決勝 菊池紫月(いわさき小) 3-0 鈴木茜佳梨(いわさき小)
 " 出口伊織(深浦卓球ク) 3-1 兵藤一美(深浦卓球ク)
 決勝 菊池紫月(いわさき小) 3-1 出口伊織(深浦卓球ク)

- 2・3年男女(リーグ戦) ○1年以下男女(リーグ戦)
- | | |
|----------------|-----------------|
| 1位 岩根麻羽(深浦卓球ク) | 1位 川村佑月(白神ジュニア) |
| 2位 前田悠人(修道卓球ク) | 2位 前田葉菜(深浦卓球ク) |
| 3位 兼平 杏(修道卓球ク) | 3位 熊谷琉那(深浦卓球ク) |



優勝者勢揃い(左から菊池さん、岩根くん、岩根さん、川村さん)



2/19 かっちゃんの知恵と技術を披露

深浦・鱈ヶ沢の女性たちのくらしの知恵と技術を披露する「くらしの工夫展」が、鱈ヶ沢町農村開発センターで行われました。同工夫展には122点の作品が出品。昔ながらの郷土料理や特産品を使った料理、衣類をリフォームしたものなど、自慢の作品が並びました。

なお、当町のコンクール入賞者は次のとおり。

コンクール入賞者の紹介

深浦町長賞 古川博子(北金1区)

【地域特産品を使った料理・加工品の部】

- ・奨励賞
 古川 博子(北金1区) 雪にんじん大福(クリームチーズ入り)
 神林 陽子(沢辺) 高きびの桜もち
- ・アイデア賞
 後藤 信子(5区) まごわやさしい炊き込みごはん
- ・ふるさと賞
 兼平 幸子(田野沢) ハタハタフクラギのすし
 佐藤 靖子(岩崎下) 高きび粉入り大福
 大石 京子(沢辺) ハタハタの甘煮
 中林れい子(4区) りんご入りドーナツ
 中林 せい(4区) 鮫のべっこう

【快適な農作業衣、アイデア・工夫作品の部】

- ・アイデア賞
 大石 京子(沢辺) リュックと野菜入れバッグ
- ・ふるさと賞
 西巻 きせ(岩崎上) 作務衣
 堀内 たま(岩崎上) 亀胴着
 近藤さちき(岩崎上) 防寒4点セット



深浦町長賞を受賞した古川さん



みなさんの身近な話題・行事・出来事などの情報をお寄せ下さい。

深浦町企画財政課 企画調整係
 電話 74-2113

まちかど

ウォッチング

2/17 訪問入浴車が贈呈されました

24時間テレビ「愛は地球を救う」の募金から全国の福祉施設へ贈呈する車両が決定し、県内の2台のうち町社会福祉協議会へ入浴専用車1台が贈呈されました。

現在、町社協で使用している入浴専用車は、納車から15年が経過。入浴用設備は問題ないものの車両の腐食が進み、維持管理が課題となっていました。

新しい車両は、小型で小回りが利き、さらに入浴設備も軽量化。介護員の負担軽減と利用者の利便性向上に、大きな期待が寄せられています。



入浴専用車の設備を確認



初優勝したFFC

気心の知った仲間が初優勝

このほど、鱈ヶ沢カップ親善フットサル大会が旧鱈ヶ沢第一中体育館で行われ、町内のフットサルチームFFCが初優勝を飾りました。

大会には、FFCや深中OBなど西北五管内から10チームが参加。2組に分かれて総当たりのリーグ戦の後、決勝トーナメントで順位を競いました。

深浦中学校でサッカーを楽しんできた先輩後輩で構成されたFFCは、リーグ戦を1位通過。決勝トーナメントも抜群のチームワークで勝ち抜き、勝負強さを発揮しました。

シーカヤック体験で白神をPR

このほど、弘前市で行われた「白神ビジネスチャレンジコンテスト」で、しらかみ十二湖(株)が優秀賞を受賞しました。

豊かな地域資源あふれる白神の魅力を掘り起こし、体験プログラムを開発しようと、県自然保護課が初めて実施。同社は、青の洞窟にも劣らないガンガラ穴等でのシーカヤック探検を発表しました。

この発表は、白神と海をつなぐ事例として審査員が高く評価。副賞の50万円の助成金権利を得た同社では、27年度の実施を目指しています。



ガンガラ穴の魅力を伝え優秀賞を獲得

大切な御縁をいただいたお客様に ~ありがとう~ と言われる仕事を心掛けています。

ご用命は
 任せて安心の

厚生労働省認定
1級葬祭ディレクター在籍店

株式会社 **深浦葬祭**
 Fukaura Funeral Service

電話 (74) 4536 FAX: 74-4546

募集
 従業員

病院・施設等からの搬送は安心の緑ナンバー車!
 「一般貨物自動車運送事業(霊柩)第497号」
 365日・24時間受け付けております。

ウェスパ **WeSpa椿山** 1日1組様限定! カラオケサービス付!

歓送迎会もこれで決まり!
2時間飲み放題+料理7品
 お一人様**3,500円**から!

ご予算があがることにお料理もグレードアップ!

ご予約 レストランカミアオ 75-2131
 お問い合わせ (受付時間 11:00~19:30)

ラーメン専門店 **ラーメン101**
 2015.4.1(水)から
17時まで営業!

ラーメン101公式facebook開設!
<https://www.facebook.com/ramen101>

深浦町月屋棟森24 ☎75-2161 営業時間11時~15時(火曜定休)

ふかうら いいね!👍

Good Job! Fukaura

●●三浦 佑太さん●●
(風合瀬：18歳)

このほど、日本学校農業クラブ全国大会で優秀賞に輝き、町特別文化賞を受賞した三浦さん。3月に五所川原農林高校を卒業し、4月から東京農業大学に進学する予定です。今回は、受賞対象となった発表を紹介し



田畑を照らす希望の光

目の前に青く広がるのは豊かな漁場「日本海」、そしてすぐ後ろには世界自然遺産であるブナの原生林が広がる「白神山地」。我が家は、青森県の最も西にある深浦町で農業と漁業を営んでいます。

我が家の経営は、もともと漁業からスタートし、祖父の代から高台を切り開いて稲作にも取り組み始め、今では水田12haから得られる農業収入7割と漁業収入3割の経営を行っています。

3代目となる私の夢は「父の跡を継ぎ、父を超える米作りを行うこと」です。お米のつや、香り、粘りなど高校では「作物研究室」で美味しい米作りを研究し、週末は農業の手伝いをしています。農作業の後、父と語り合うのがとても楽しい時間です。

「遠いしぬがる田よげえで、手回らなくて困ってまる」父との会話から、我が家の課題が見えてきました。小さい田畑が点在し、管理に手間がかかること、周囲に耕作放棄地が増加していること、漁業収入が減っていること、そして販路の拡大です。

深浦町は、山から海までの距離がわずか3kmという典型的な中山間地域であり、10ha以上経営する農家は我が家の他にわずか10件、耕作放棄地率は県平均が5%に対して20%と深刻な状況です。小さいころから見てきた、まるで海の上に浮かんでいるように見える高台の黄金色の田畑が、年々放棄地によって荒れていく様子は、見ていてとても悲しくなります。これは我が深浦町にとって大きな問題です。「何とかもう一度美しい景色を復活させることはできないのか」と、いつも考えていました。

本校が参加している「五所川原6次産業化推進協議会」で、共同研究を行っている富士武造さんとの出会いに、私は大きな衝撃を受けました。富士さんは水田17haを営む生産者で、雑誌「現代農業」でも取り上げられた「富士式地下かんがい」というシステムを開発し、特許を取得しています。高校の田畑で富士農法を実践してみて、その試験結果に感動しました。

この農法の最大の特徴は、地下にコルゲート管とほたて貝殻で暗渠をめぐらせ、水の高さを自由にコントロールすることです。圃場の排水性が格段に向上するため、水田と畑作を毎年交互に栽培する「田畑輪換」が容易になり、除草剤の軽減が可能。畑作では、需要の大きい国産大豆を作ることで、土壌への窒素養分が固定でき、経営改善も期待できます。

稲作では、種もみを直接田んぼに播く「乾田直播栽培」により、今までの作業で大きな負担となっていた育苗代かき、田植えが不要となり、労働時間を約25%削減。さらに、稲の主茎部の割合が多いことから、食味値が慣行区に比べて1割高い結果となり、これまでの稲作の課題を解決できる農法であることが分かりました。

昨年度応募した「全国農業高校お米甲子園」で特別優秀賞を受賞し、食味の良さも全国に証明済みです。収量は1反あたり521kgとやや少ないという課題もありましたが、今年は植栽密度を上げ、収量アップを目指す研究を行っています。工事に係る経費も少ないことを調べ「これは我が家の経営に生かせるに違いない」と決意しました。

さっそく父に相談したところ「ぜひ我が家に地下かんがい取り入れたい」と賛成、現状を何とかしたいという父との思いが一致した瞬間でした。富士さんも加わり、父と私と3人で話し合っただけで決めた場所は、なんと排水性が悪く米作りを諦めた3年間手つかずの耕作放棄地でした。「全国の耕作地は4割が中山間地域。そのモデルをここ深浦町に作る」という大きな決意でした。わずか5aですが、1日がかりで工事を終え、今年は土作りからスタート、我が家の田畑輪換プロジェクトがよいよスタートしました。

そして圃場を探している間、父の何気ない一言「深浦は水がいい所だから」という言葉で、私の中で「山・田畑・海」がつながりました。良い漁場には必ず山林があると聞きました。ここには白神山地の水が流れており、豊かな水資源があったのです。次のプロジェクトは「白神山地のブランド米づくり」に決まりです。

地域の人、技術、そしてかけがえのない資源が繋がった時、暗い話題が多かった我が家の田畑に、明るい光が差し込んだような気がしました。

将来、私は大学で研究しながら、ここ深浦町で「富士式地下かんがい」モデルの実証試験と普及活動を行います。直播栽培により確保できた時間を地域の仲間たちと耕作放棄地の解消や販路拡大にあてたいと考えています。

日本の課題でもある深浦町のような中山間地域の小さな田畑であっても、見渡す限りどこもしっかりと管理され、誰でも美味しいお米が再び作れる日を夢見て、私はこの町で農業を続けます。

しなやかに 勇壮に ~芸能発表会~

町内の婦人会やJ A女性部との親睦を深め、自慢の歌や踊りを披露する芸能発表会が、2月14日、フィットネスプラザゆとりで行われました。

女性の力が注目されている今、婦人会はボランティア活動や様々な行事に参加している活気ある団体。地域ごとの活動はもちろん知識や教養を高める活動を行っており、芸能発表会も互いの交流を図る貴重な場となっています。

当日は、200名ほどの観客を前に、深浦マグローブイズ & バックダンサーズがオープニングアクトとして登場。会場のボルテージを一気に上昇させ、その後10地区が日頃から練習を重ねてきた歌や踊りを発表しました。

1年ぶりの晴れの舞台上で、演者が披露する身のこなしから指先までしなやかな舞や勇壮で迫力のある演目に対し、会場からは割れんばかりの拍手喝采。地域の芸能を楽しみ、充実した1日を過ごしました。



崎の町「俵つみ唄」



J A「豊作万年音頭」



美声を披露する須藤テコさん(3区)



追良瀬「森の石松」

広告募集中!!

会社やお店の宣伝・
イベントの告知に
ご利用ください!

問合せ先
企画財政課 企画調整係
74-2113

肩こり・腰痛・筋肉のほぐし他

カイロプラクティック施術(全身)	¥3,000
お試し15分(骨盤調整)	¥1,000
フェイシャルケアコース	¥5,000

〈健康グッズを取り扱っています〉ご相談ください!
布団、枕、骨盤保護パンツ、健康補助食品(サプリ)、化粧品・・・etc

カイロプラクティック院 らっきー
深浦町大字風合瀬字大磯135(2階) 上晴山バス停隣
【問合せ】080-6042-7173(山下)/不定休



健康万歩計は、西北五医師会が、皆さんが健康で元気に過ごすための必要な情報を提供し、ドクターからのアドバイスを紹介するコーナーです。

今月の山内誠先生
ドクター 山内クリニック・院長



痛風ってどういう病気？治療法は？

「きのふはけふの物語」（昨日は今日の物語、寛永初年成立か）に、ある人が寺へ行って藪をのぞいたら長老様が見事な雁（がん、かり）（カモの類）の毛をぬいていた。そばへ寄ると長老は仰天、この羽毛の枕が「つうふの葉ちや」、「毛を抜くのに不慣れで」。檀那きいて、たやすい事と、くるくるとひきむした毛を長老にあずけ、「この身はこなたにいらざる物よ」とて、とって帰り賞味した、とある。この当時雁を口にできるのは大名・貴人くらいしかおらず、その身分は雁食い（がんくい）と呼ばれていた。

痛風は贅沢な食生活の産物といわれ帝王病とも呼ばれていた。アレクサンダー大王、ルイ14世、ゲーテ、ダーウィンなど、痛風に苦しめられた歴史上の有名人は枚挙にいとまがない。

一杯やりながらの鍋料理。てっちり、ちゃんこ、キムチ鍋。シメの雑炊は格別だ。が、これは痛風もちにはNGだ。雑炊汁は具材から流れ出たプリン体で溢れかえっているからだ。

痛風とは、数年にわたる高尿酸血症の結果として尿酸塩が関節に沈着して起こす関節炎だ。何らかの誘因でその沈着した尿酸塩が関節腔内に剥脱すると、突然、激しい痛みが起こり、一晩で関節が赤く腫れあがる。足の親指の付け根に多く発生する。病名に“痛”との文字が入っているだけのおり痛い。大の大人でも二、三日は歩けなくなる。

痛風は古くから知られた疾患であり、約2,500年前、古代ギリシャのヒポクラテスが痛風を報告した際、その原因として「男性」、「加齢」、「肥満」、「大酒家」を指摘している。

近年の研究によると、小腸・腎臓などに発現している遺伝子「ABCG2」が変異すると、尿酸を体外

にくみ出す力が低下して高尿酸血症がおこる。この遺伝子変異は、肥満や多量飲酒などより強い影響を持つ、という。

さて、治療法であるが、尿酸値を正常に保つために生活習慣、特に食生活の改善が重要である。プリン体ばかり気にしているより食事の量さえ気を付ければ痛風とうまくつきあえる。アルコールは飲み過ぎない。プリン体を含む、含まないにかかわらず、アルコールにはプリン体の分解を高めて尿酸の発生を増加させる作用があるからだ。水分を1日2、3リットル摂るようにしたいが、「いつもより倍の水分を摂る」ほうが簡単で長続きする。

痛風発作時の関節炎は風が吹くだけでも痛い、鎮痛剤などの発作時の薬物療法注1)によりその痛みは短期間で治まり“風のように去って行く”。そのため、尿酸値を正常に保つ薬物療法注2)が残念ながら長続きしない。しかし、高尿酸血症が続くと、尿に溶けきれなくなった尿酸が石のように固まってしまい、尿路結石、そして深刻な腎障害を引き起こしてくる。痛風の“風”には、東洋医学では体の深いところに障害を受けたもの、という意味があるのもご理解いただけよう。勝手に治療を中断してはいけません。

注1) 痛風発作の治療薬：痛みに対しては非ステロイド性抗炎症薬が使われる。

痛みを予感した時にはコルヒチンを内服して発作を頓挫させる。

注2) 尿酸を下げる薬：尿酸の排泄能力が低下している場合にはベンズプロマロン、ブコローム、尿酸の産生過剰が考えられる場合にはアロプリノールが使われる。

従業員募集

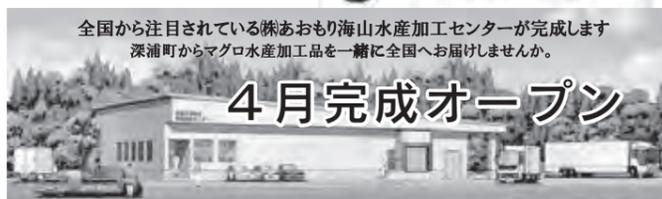
(株) ホリエイグループ会社 愛おもり海山

- 【期間(予定)】パート:4/中旬~
- 【仕事内容】マグロの解体、サク加工・その他鮮魚加工
- 【資格】学歴・年齢不問、未経験者歓迎
- 【勤務地】深浦町大字月屋字裸森73-3
- 【勤務時間】8:00-17:00(繁忙期は夜間勤務有)
- 【給与】当社給与規定による(能力に応じて昇級あり)
- 【待遇】社会保険完備(厚生年金保険、健康保険、雇用保険、労災保険)
- 【応募】青森営業所迄お電話下さい。

「短時間でもOK、気軽にお問い合わせください。」

連絡先

本社 深浦町大字岩崎字松原193-2 TEL:0173-77-2102
加工センター 深浦町大字月屋字裸森73-311
青森営業所 青森市長島2-13-1 AQUA 青森スクエア4階 TEL:017-715-5813



全国から注目されている株あおもり海山水産加工センターが完成します
深浦町からマグロ水産加工品を一箱に全国へお届けしませんか。

4月完成オープン

ふかうら学

深浦町公民館で実施している社会教育推進に向けた事業について紹介します。

目的：多様な学習機会の充実

「第2次深浦町中期社会教育計画より」

施策：青少年が健やかに地域で育つため、学校・地域・家庭の連携・融合（融和）による取組の充実を図る。

地域住民・探浦小学校・公民館が連携した探浦小学校クラブ活動！

深浦小学校陶芸クラブでは、深浦町公民館の敷地内にある陶芸館で制作活動をしている「楽陶会」会員に講師を依頼し、「花瓶」の制作に取り組みました。「楽陶会」のみなさんは、プロ級の腕前で町文化祭に陶芸作品を多数出展し、参観者の目を楽しませています。

深浦小学校では、「児童が自分の趣味・関心のあることを学んだり活動したりすることで、個性を伸ばし、自主性と社会性を養い、学校生活をより充実したものにする。」をねらいとし、各種クラブ活動を実施しています。（対象学年4～5年生）

深浦小学校クラブは陶芸クラブの他、凧絵クラブ、文化・芸術クラブ（俳句）、将棋クラブがあり、公民館や文学館と連携しながら、地域で活動している町民（団体・個人）を講師に実施しており、学校と地域の交流も図っています。



楽陶会会員の指導による作品制作（公民館内陶芸館にて）

目的：異世代間交流の充実

「第2次深浦町中期社会教育計画より」

施策：行事（事業・イベント）などを通して、青少年、成人、高齢者の交流の場づくりを図る。

会話が弾む「きのこ植菌教室」を実施しました！

きのこ植菌教室（ふれあい教室）を2月7日(出)深浦町公民館で実施しました。

事業の目的は、「物を作り、話し合い、学ぶ」ことで世代間や町民同士等のふれあい・交流を深めることとしています。

教室の参加者は27名と毎年楽しみにしている常連さんが多く、ベテランと初心者が協力（楽しく会話が弾み）しながら作業に取り組み、2時間ほどで完成しました。

「しいたけ」が収穫できるという実益を兼ねていることから町民に好評で、回数を増やして欲しいとの要望があるほど人気のある事業です。

【作業内容】・原木にドリルで穴を開け、しいたけ菌コマを金づちで打ち込んで仕上げる。



作業を終え、みんなで記念写真。美味しい「しいたけ」の収穫が楽しみ

たけくま動物病院 TAKEKUMA SMALL ANIMAL HOSPITAL

秋田県能代市藤山114番地 TEL 0185-89-2666 <http://www.takekuma-vet.com/>

◎診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝日
午前	9:00~12:00	○	○	10:00~12:00	○	○	10:00~12:00
午後	3:00~6:00	○	○	3:00~5:00	○	○	3:00~5:00

「思いやりの心」と「明るく誠実に接する」動物病院を目指しています。狂犬病予防注射は病院で随時接種できます。

- 入院施設有
- 往診快諾

- ペットホテル・トリミング有
- 避妊・去勢手術随時受付
- 狂犬病・フィラリア・混合ワクチン予防実施
- 各種検査、健康診断(血液・レントゲン・超音波・内視鏡・心電図等)



進路目標全員達成

現在、1、2年次生は、資格の取得や上級学校への進学をめざし、毎日勉学に励んでいます。本校では、日本漢字能力検定、英語検定、簿記実務検定、ワープロ検定、電卓実務検定など多くの検定を実施しており、たくさんの方の検定試験合格者を出しています。今年度の1、2年次生の資格取得状況は、以下のとおりです。

1年次資格取得	21名
珠算・電卓実務検定	4名
ビジネス文書実務検定	1名
商業経済検定	1名
2年次資格取得	11名
珠算・電卓実務検定	13名
ビジネス文書実務検定	2名
簿記実務検定	9名
情報処理検定	2名

また、3年次生の進路状況は以下のとおりです。
4年制大学5名（青森公立大学2名、青森中央学院大学1名、跡見学園女子大学1名、弘前学院大学1名）
短期大学3名（東北女子短期大学3名）
専門学校等7名（花壇自動車大学1名、学校法人ケイエム学院青森調理師専門学校1名、東北電子専門学校1名、一般財団法人）



人双に会厚生看護専門学校2名、北日本医療福祉専門学校1名、弘前高等技術専門学校1名
就職11名（県内4名・県外7名）

26名の卒業生

早いもので今年も卒業式のシーズンを迎えました。本校では3月3日に卒業式が行われ、26名が巣立ちました。また、卒業式に先立つ2日には、これまでの3年間、各分野で活躍した生徒をたたえる表彰式が行われました。受賞者は次の通りです。

- 優良賞 山本豊加
- 成績優良賞 熊谷直樹、熊谷直也、間山聖也、佐藤あすか、杉田絵理、玉熊奈々
- 皆勤賞 熊谷直樹、坂崎凌太、間山聖也、坂本理華、島川結希、野呂愛美、山本豊加
- 精勤賞 石沢紗裕梨、斉藤愛美、佐藤あすか、玉熊奈々、山本豊加
- 功労賞 山本豊加
- 生徒会活動功労賞 熊谷直樹、間山聖也、熊谷香純、野呂穂乃佳
- 青森県高等学校PTA連合会長賞 島川結希、石沢紗裕梨、坂本理華
- 全国商業高等学校協会 3種目以上1級合格者 熊谷直樹
- 全国商業高等学校協会 卒業生成績優秀者 熊谷直樹

今後の行事予定

- 3月19日(木) 入学者選抜再募集
- 3月24日(火) 入学予定者説明会
- 3月25日(水) 修了式
- 3月26日(水) 年度末休業

町民文化

一病と共に生きるや春近し
約束のこゑ聞くごとし涅槃西風
灯と一つともす漁港や冬銀河
海平ら行合崎の揚雲雀
有明の月皓皓と寒に入る
だんまりと紡ぐ日々なり涅槃西風
内に猫外に珍獣冬盛り
和三盆冬の銀河で茶に遊ぶ
待春や婆のお手玉迷いなし

俳句

蒲田 幸子
山本 こう女
砂子田 ツエ
菊池 シエン
田口 ゆき
山本 志恵
七戸 たか女
法谷 真佐江
近藤 月子

編集後記

普段は写真を撮ったり話を聞いたりする立場ですが、先日、ある取材を受けました。内容は、取材で心がけていることやどうして仕事をしようと思ったのかというものが、気づいた方もいると思いますが、小学校の「親の仕事調べよう」という課題でした。子どもとはいえ、取材を受けたことがほとんどないため、柄にもなく緊張し、いろいろ答えてしまったかと、取材後に少し反省。後日、参観日のついでに完成した作品を見てみました。作品では、仕事が好きな人のように紹介。自分で答えただけに少し恥ずかしいですが、嘘にならないよう「楽しんで仕事をする！」ことは、続けたいと思います。

今月の一冊

『人は皆自分だけは死なない』
と知っている

防災オンチの日本人

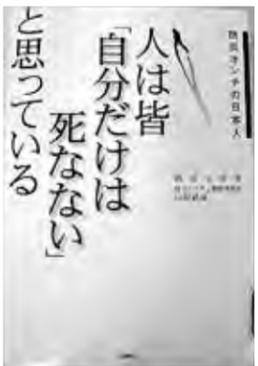
山村武彦／著
宝島社／発行

このコーナーでは、太宰の宿ふかうら文学館が薦める書籍を紹介いたします。

防災のために、備えておくこと。防災の現地調査を行ってきた著者が、災害時における人間の行動と心理状態を分析し、防災のための心構えと、災害時にとるべき具体的な行動について書いた本です。

自然災害を避けることはできなくても、正しい知識・判断によって被害を少なくすることはできる。そのためには人的な防災・危機管理意識を高めることが重要だと、著者は述べます。万一の災害のための備えとして、心理面での防災対策の大切さを伝えてくれる、おすすめの本書です。

著者は、災害に遭い身の危険が迫ったとき、人は必死に逃げるのが普通だと思われるのに、実際には決してそうとは限らないと言います。ある学生寮で行った実験や、川治温泉でのホテル火災などの実例を挙げ、逃げるべきときに逃げようとし、人々の心理を解き明かし、いざというときに適切な行動を取れるよう、必要な知識を分



戸籍の窓

1月21日～2月20日までの戸籍届出



お誕生おめでとう

近藤 祥太 (蒙) 12区
三浦 京太郎 (聖) 風合瀬
知加子

小野 とみ系 (72歳) 北金1区
木村 きぬ系 (90歳) 関
桜庭 利美 (61歳) 柳田
熊谷 敏博 (44歳) 岩崎中



おぐやみ申し上げます

坂本 たみ (98歳) 船作
佐藤 こま (97歳) 磯
島谷 弘治 (77歳) 3区
小角 たよ (92歳) 崎の町
佐々木 五郎 (84歳) 12区
福沢 みよ系 (91歳) 相野山
齊藤 すま (95歳) 塩見崎
福沢 勝巳 (85歳) 塩見崎
野呂 カツエ (90歳) 轟木
山本 まさ (100歳) 田野沢
兼平 雪枝 (81歳) 田野沢



深浦町の人口と世帯

《2月末日現在》()内は前月比

男 …… 4,309人 (-6)
女 …… 4,830人 (-12)
計 …… 9,139人 (-18)
世帯数 3,882世帯 (-2)
深浦町の総面積 488.86km²



このコーナーでは、元気いっぱいな園児達の作品をご紹介します。

めぐみ保育園のなかよしたち

「うれしいひなまつり」

(左から)

- やました みゆ うさん (5さい)
- あべわ こさん (5さい)
- はせがわ せい かさん (6さい)
- ながせ こゆきさん (5さい)
- はせがわ ひびきくん (5さい)



深浦町の花



■福寿草■

深浦町の木



■榎■

深浦町の鳥



■カモメ■

こんやに 元気です!



いりな
山根 衣梨那ちゃん
(父 寿文さん) 沢辺
(母 美奈子さん)

このコーナーでは、1歳を迎えた子ビッコ達をご紹介します

新診療所の整備基本方針と策定

2月27日、新診療所の整備基本プラン策定委員会において調査・検討してきた機能や運営等がまとまり、吉田修委員長から吉田町長へ答申書が手渡されました。

本委員会は、9月30日から5回に渡って開催。広戸地区への整備を想定し、診療方針や医療設備、利便性について議論を重ねてきました。

答申を終えた委員は、医師確保が大変な状況を理解しつつ「答申書に沿った理想的な医療をお願いしたい」と語り、新診療所へ大きな期待を寄せていました。

